

学校グランドデザイン
育成したい資質・能力：

【心あるビジネス人】

【宮商生に身につけさせたい資質・能力】

心

知性

志

①協働する力
問題解決にむけて、他者と協力して活動できる力

②他を理解する力
他者の考えを受けとめ、相手の立場を尊重する力

③適応力
その場の状況に応じて行動できる力

④基礎学力
全ての学びの土台となり、知識と教養を深める力

⑤創造力
ものごとの新しい価値観を見だし、生み出していく力

⑥探究力
自ら<問い>を発見し、自らの<答え>にたどりつこうとする力

⑦自己実現力
自己を確立し、自分の進む道を求め、目標を成し遂げる力

⑧想像力
未知のものに興味を持ち、あるべき未来について<想像>する力

⑨行動力
達成すべき目標にむけて、自ら進んで行動する力

評価項目	校務分掌	具体的取組又は達成状況	具体的取組又は達成状況	自己評価	評価	学校評議員評価 及び 意見
①協働する力	進路指導部	・進路行事を通しての生徒指導 ・進路の提出物の期日の厳守 ・就職後 3 年以内の離職率 0%に向けての指導	・応募前企業見学を生徒に選択させていたが、見学しないまま受験する生徒がでてきた。来年度は見学に必ず参加するように期間を設定したい ・自己管理ができていない。手帳などの活用が望まれる。 ・進路関係の提出物状況は全体的に遅かった。信頼される人間力を身に付けさせるために継続的な指導が必要。 ・小論指導、面接指導等、担当の先生方を中心に指導が行われており、生徒がスムーズに動いていたと感じる。 ・就職エリアコーディネーターとの情報交換や連携は取れていた。	3	3	○1 年 2 年からの企業、大学等への見学の実施も良いのではないかと感じる。 ○コミュニケーションをとれる子どもが少なくなっていると感じるので(企業側の面接では重要に見てる)外部との協力を受けながら活動ができる支援をお願いしたい ○3 年以内の離職率についてはわかりやすいテーマではあるが、今の時代に合っているのか疑問。 ○清掃は行き届いている印象がある。 ○体育大会を見学させてもらいましたが、先生は最低限の サポートに回り、生徒主体の素晴らしい体育大会だったと思う。
	保健部	・体育大会における救護活動において協働して取り組むことができたか。 ・保健委員会の活動において、本校の健康課題の改善に向けて協働して取り組むことができたか。	・体育大会における救護活動では、保健委員の生徒が役割分担やシフトを決め、積極的に活動していた。 ・保健委員会の活動では、本校の健康課題の改善に向けてグループで主体的に取り組む機会を設け、ジュースに関する調査研究や、口腔衛生に関するパネル展示を文化祭にて行った。グループで協力してそれぞれの得意なことを活かしながら活動する姿が見られた。	3		
	環境美化部	・気づきのある清掃の促進 ・年5回の清掃強化週間の実施 ・春と秋のHR花壇の整備	・清掃に関しては、年度初めより清掃強化週間中の生徒の清掃意識は上がってきたように感じる。 ・点検する生徒がうまく役目を果たしている。 ・困難な草抜き、花壇の整備が協同して行われていた。	3		
②他を理解する力	教 務 部	・各授業において、議論や意見交換を中心とした授業の機会を増加させる ・ループリックや ICT を活用した授業の実施	・授業における生徒の意見の交換の場やお互いに教えあう場は増えてきている。 ・総合的な探究の時間においてループリックを活用し、生徒の質問に対応した。 ・各教科で ICT 端末を利用した授業や自己評価での活用が定着しつつある	3	3	○ICT の活用でアナログではあるがメモを取る癖をつけさせてほしい、(大学ノートを常に持参)話を聞くのにメモを取らない子どもが多い (宮商生はそうではないかもしれないが) ○メンタル研修も先生、生徒も年1回ぐらい個別で行うと良いと感じる。 ○新聞発行や保護者との親睦の開催は宮崎商業高校の大切なアピールの機会であり引き続き継続を期待します。 ○もっといろんなところに宮崎商業高校をPR しても良いのでは、進学、就職、部活と文武両道を改めて確認しました。 ○先輩からの話を聞く事も増やすといいかと思う。 ○放送朝礼で具体的に何をしているのか気になる。20回 以上の理由が知りたい。 ○運動部、文化部共に素晴らしい成績を残しているので、文章にあるように活動を幅広く知ってもらう機会はどんどん作った方が良いと思う。 ○クラスマッチや行事はとても良い思い出になるので今まで通り積極的に実施してほしい。
	生徒指導部	・放送朝礼を年間 20 回以上実施する。 ・定期的な学年集会を実施し、生徒の状況に応じて適宜、計画実施する。 ・クラスマッチを年間2回企画し、学内のクラス内の振興を図る。 ・各種大会に向けた壮行会、表彰披露を学期2回実施する。	・放送朝礼や定期的な学年集会において、校外等での行動のあり方について考えさせる機会がたくさんあったが、更に、話を聞く態度やその話しを踏まえての指導が各学級単位で深まっていけば、他者への振る舞いや他者理解をもっと真剣にできるようになる。 ・クラスマッチでクラスの親睦が図られたと感じる。一方で、競技に気持ちが入りすぎ、思いやりに欠ける行動が見られたりしたので、その都度、その場での指導が必要である。 ・壮行会や表彰披露を実施し、運動部や文化部の部活動生の頑張りを幅広く知ってもらえる機会を設けた。 ・表彰を受ける生徒が多かった。	3		
	キャリア情報部	情報モラル違反 0%	・タブレット端末の目的外使用が散見されることから、年度初めにルールの確認を繰り返す必要がある。	3		
	渉外厚生部	・PTA 新聞を、滞りなく編集・発行できたか。 ・保護者同士、保護者と教職員が親睦を深める PTA 行事を開催できたか。 ・大学や企業視察、母親委員会など、保護者の啓発になる研修会を開催できたか。	・PTA 新聞は、台風のため3役での編集作業となったが、当初の掲載予定を変更して甲子園出場の記事を掲載するなど、臨機応変に対応しタイムリーな新聞を発行できた。 ・5年振りに開催されたミニバレー大会は、保護者と職員、また保護者同士の親睦を深めるよい機会となり、事後アンケートでも来年も是非開催してほしいとの声が多数聞かれた。 ・大学視察、母親委員会主催の「初めての1人暮らし、新生活アドバイス教室」は参加された保護者からは好評だった。 1, 2年生の参加も増えるような周知の仕方を検討したい。	4		
	教育相談部	個別の支援計画作成 ・特性、疾患等のある生徒支援(面談・環境整備) ・支援会議1回以上	・個別の支援計画作成人数(1年0名、2年4名、3年1名) ・様々な特性がある生徒に対し面談をする中で理解を深めるよう努めた。 ・夏季休業中に、教科担任を集め支援会議を開催した。	2		
	事 務 部	・職員・PTA への連絡に情報ツールを積極的に活用する。	・情報ツールや電話、通知などにより、校納金の未納者への督促を行い、長期滞納者が減少した。必要に応じて担任教員から連絡してもらうなど状況に応じて対応した。	3		

③ 適 応 力	生徒指導部	・5月にリーダー研修会を実施する。 ・交通安全教室を実施し、年間を通じて地域安全情報を提供する。 ・夜間巡回指導に月2回参加して、地域の青少年育成に参画する。 ・2学期に部活動生集会を実施する。 ・校内規定や校則の見直しについて、改善手続き等を明示し、生徒が意見を述べられる場を設定する。	・5月のリーダー研修では組織マネジメントの講義を学級役員が受け、自覚と責任感を引き出す機会となった。 ・5月の交通安全教室は全学年、12月は3年生を対象に実施。最近は交通事故の数が増えてきているので、定期的に全校集会等でも命の教育をしていきたい。また、ヘルメット着用を促しているが、運動部活動生だけではなく一般生徒も少しずつではあるが着用している生徒が増えてきている。 ・毎月2回、生徒指導部職員交代で地域の夜間巡回指導（市青少年指導委員）に参加した。 ・部活動生集会を実施し、部活動の意義等を醸成している。 ・校内規定や校則の見直しについて、生徒総会の趣旨を生徒会自身がしっかりと理解し、言動の責任感と判断力を持って総会の運営を行わせたい。	3	3	○外部からの講師からの講義をいくつか行っていることは、良いと取り組みであるので、積極的に OB、PTA からの支援活動を継続してほしい。 ○校内規定や規則については先生方の苦労も多い分野で あると思うが、生徒へのある程度の理解に向けて今まで通り活動してほしい。
	進路指導部	・小論文課外や個別指導の充実 ・面接指導の充実	・小論文課外のサポートを行った。ほとんどの授業を拝見させていただき、勉強になった。 ・7 月初旬の職員研修（進路）で外部講師による「志望理由書の指導の仕方」の講演を計画、実施した。 ・観点別で評価されてきた学年だが、評定と実力との差が大きくなっているように感じた。志望理由書の作成や小論文などの指導で苦戦を強いられた。2年次からの対応が必要なのか。	3		
	保 健 部	・体調不良時には、自身の生活習慣を振り返り、体調を整えるために適切な対応ができたか。	・学校行事前の各健康相談では、自身の体質や既往症等についての理解を深め、生活の中で気をつけるべき事や、体調の変化に気づく力を育むことができた。また、日々の来室時の対応において、体調不良の背景にあるものや、対応の仕方について等、共に考える機会を設けることで、生徒が体調の変化に応じて対応する力を身につけていくことができた。	3		
	環境美化部	・防災訓練の実施 ・地域の避難場所としての地域住民との連携	・地震・火災両面を想定した防災訓練の実施 ・7 月地震が起きた際のメール配信、安全確保のための確認を行えた。	3		
	教育相談部	・別室登校生徒に対する全職員による配慮・方針の作成 ・不登校生徒に関する研修会の実施 ・心理検査 1 回 ・いじめ体罰ハラスメントアンケート 3 回 ・いじめ対策委員会の開催回数 ・検査やアンケートをもとにした問題解決のための面談実施 ・学年会出席状況 ・SC、SSW との連携状況	・別室登校生徒への配慮事項を定め、全職員への協力を呼びかけた。また、毎日、相談室利用生徒の 1 日の行動等(出席状況や欠課の把握)を入力した。 ・相談室に来た生徒、アンケートで気になる生徒の話を聞き、授業中やそれ以外の場面で気になる生徒に声をかけて、生徒の要望に迅速に応えるとともに問題解決できるよう努めた。 ・心が傷ついたり疲れ切って相談室を求めてくる生徒にとって、居心地が良く過ごしやすい雰囲気を保つことが長い目で見ると生徒の心を回復させる一番の手立てであると思う。 ・SC、SSW と協力して、生徒や保護者との面談をセッティングするとともに、ケース会なども開いて問題解決にむけて話し合った。過去の虐待に関して外部機関と連携を行った。	2		
④ 基 礎 学 力	教 務 部	・特別学習指導の実施 ・年度末成績等不振者数 全体の1%未満 ・4月に全校生徒へシラバスを配布し、全教科の学習指導に活用	・特別学習指導に実施に関しては計画的に実施できているが、指導に乗ってこないケースがある。 ・成績不振者と出欠状況が連動している事例が多く、指導が徹底しない感がある。成績不振者は1年次に対象になると2年次も対象になることが多い。 ・シラバスの作成・配布については実施できている。またネットで共有フォルダにあるため、確認したいときに確認できるのは良い形である。	3	3	○就職内定は、数値的に何パーセントの達成を提示ください。 ○数値の達成率を全体的に出していただくと思いいます ○「なかなか動かない生徒がいる。自分が何をしたいかが見つからない生徒が増えている感じである。」については、仕事の種類は無限にあるので趣味や好きなことから広げられたり、とにかく選択肢を広げることが大切かと思う。 高校生のうちに一生の仕事を見つけるのは難しいと思うがこの時期のうちに「可能性」だけは広げられるようサポートが必要だと思う。
	進路指導部	・就職希望者内定100%を目指した指導 ・SIテストの再テスト受験者を10%以内へ	・基礎学力診断テストについて、ベネッセの方による説明など行っており、生徒の進路意識や基礎学力について良い意識付けとなったのではないかと感じている。 ・就職は売り手市場の状況だが、なかなか動かない生徒がいる。自分が何をしたいかが見つからない生徒が増えている感じである。 ・SIテストは再テストを受ける生徒の固定化が見られた。 ・外部模試やSIテストは、やらないとますます学習する習慣はなくなるのではと懸念される。	3		
⑤ 創 造 力	保 健 部	・保健委員会の活動において、積極的に意見を出し合い、創造的に取り組むことができたか	・保健委員会の活動では、全校生徒の健康課題について意見を出し合う場を設定し、異学年の生徒が共に様々なアイデアを出し合う場面がみられた。活動の展開までできなかったグループもあった。特に部活動生は放課後等の時間が限られているので、活動の進め方の工夫が必要である		3	○年代を超えて意見を出しあえるのはとても素晴らしいことだと思います。
⑥ 探 究 力	教 務 部	・ヨミキの実施 ・GoogleWS の利用促進 ・定期考査試験範囲の配信(教科)	・ヨミキは、学習の素地を作るのにとってもよい教材だと思うので根気よく続けると成果が現れると思う。 ・GoogleWS の活用は差があり、職員研修等で活用の事例等を伝える必要がある。 ○ICT を活用し、定期テストの時間割やテスト範囲を配信することで Classroom の定着が進んだ。	3	3	○就職希望者出なくとも、1.2 年から企業の会社説明会、進学説明会等の参加を行うといいのではと思う。 ○おおむね積極性のある子どもは、1年・2年から参加していると感じる。積極的な働きかけを望む ○健康についての指導は学生のうちにすすめてほしい。若いうちは健康についての意識は低いと思うが、何かあった時にこの時期に学んだことが生きる場面が多々 あると思う。評価には乗りづらいかもしれないが、子供達の命を救えると思って強化してほしい分野です。
	進路指導部	・企業ガイダンスや進学ガイダンスの実施 ・進路資料室の掲示物の整理 ・受験報告書活用と整理 ・探究活動やキャリア教育の充実	・進路情報等、適宜、生徒に情報提供が出来ていると感じている。利用する学年はほとんどが3年生であるが、今年に関しては1・2年生の利用も少しではあるがあったように感じる。 ・ガイダンスやオープンキャンパスの案内は計画通り実施できた。 ・ハローワークや企業の方による面接・履歴書講座は生徒にとっても参考になったと思う。 ・進学希望者の志望理由書作成が非常に大変であった。自分の進路先についての情報収集能力や文章力の育成が急務である。	3		
	キャリア情報部	探究活動充実・満足度 80% 探究レポート提出率 100%	・総探の時間とキャリア教育は不可分であり、全ての学校教育活動の根底にあるべき視点であることを全職員で意識する。 ・2 学年探究のアドバイザー制度の継続は厳しく、グループワークを中心にした学習計画に変更を検討する。	3		
	保 健 部	・生活習慣と健康に関するアンケート後の個別の保健指導において、日頃の生活を振り返り、自分自身で改善目標を立て、主体的に行動できたか。	生活習慣調査の結果から、60人程の生徒を対象に、個別の健康相談と保健指導を行った。中でも継続的な支援が必要な生徒については、主体的に健康課題を捉えられるように支援し、スモールステップで目標設定を行い、定期的にフィードバックを行うことで、行動変容を促していくよう努めた。	3		

	図 書 部	・年間貸し出し冊数 生徒一人平均 4.5 冊以上 ・来館者の増加(20 人/日)と必要な図書の提供(館内整備 2 回/年)	・11 月 27 日現在の貸し出し 1 年生:1 学期 609 冊、2 学期 196 冊 →計 805 冊 2 年生:1 学期 208 冊、2 学期 72 冊冊→計 280 冊 3 年生:1 学期 90 冊、2 学期 87 冊→計 177 冊 ・来館者について授業、LHR 等での利用を促す必要がある。	3		
⑦自己実現力	教 務 部	・各検定試験の受験支援 課外期間の設定、支援方法の工夫改善	・検定試験の案内や資格取得の意義を説明した結果、自ら進んで検定試験を受験する生徒が増えた。 ・特に全商検定 3 級から 2 級の基礎基本といえる検定試験合格率向上のための支援をする必要がある。 ・検定試験への意欲低下は、進路や今後のキャリアにも繋がり組織的に取り組むべき課題として捉え対策を考えたい。	3	3	○ボランティアをする事で何が得られるか。社会貢献なのか、明確にはなしをしないと参加は増えないかもしれません。 ○ルールを守ることも大切。だが、モラルやケースバイケースで良い対応ができるような心得があるとなお良いと思う。 ○体育祭を見学した際、ダンスの時間の出来事です。来賓の前にも沢山の生徒が鑑賞しに集まり、気を遣って地べたに座って見学していました。前に座ったその中の 1 人の女子生徒が「見えますか?」と 声をかけてくれました。そもそもみんな座って見てくれて配慮があるのですが、そのサラッと一言言える人は大人でも少ないのではないのでしょうか? お陰で心地よく鑑賞できました。配慮を感じました。 ○本校の先生の責任の元、その道の先生に積極的に指導してもらうのは良いことだと感じる。
	生徒指導部	・生徒心得を classroom やHP に掲載し、商業生としての適切な判断力を身に付けさせる。 ・部活動加入率 80%以上を目指す。 ・ボランティアや街中イベントへの積極的な参加を促すため、校内広報サイトを作成して、運用を行う。	・4 月に全校生徒へ向け、生徒心得をデジタルで配布。「ルールを守る」行動を心掛けるよう日々指導を行っている。 ・部活動加入率は、全体では 80%を超えているが、男子が 75%程度なので来年度は男女とも 8 割を超えていきたい。 ・立腰の時間や HR 活動の時間を大切にし、正しい学校生活を送れる人間を育成したい。 ・ボランティア等の郊外における活動機会の情報発信・周知についてはかなり徹底されているが、その発信を見ていない生徒も多く、各学級での積極的な呼び掛けを更にお願したい。学校以外で学べることが沢山あることを知ってもらう必要がある。	3		
	進路指導部	・13 講座の課外開講 ・進路未決定者 0%を目指した指導	・安易な受講が多いのかもしれないと感じた。課外を受ければ合格できるという意識は変えないと行けないと感じた。 ・商業課主催の外部講師による小論文講座に協力した。 ・放課後に実施した相談会では生徒の反応が良かった。	3		
	キャリア情報部	・キャリアパスポート活用見直し作業、 ・フォーサイト手帳活用連携検討進捗度 100%	・キャリアパスポートは年度スタート時と学期末時に振り返り作業に活用する。あくまでも総括的でまとめとしての役割。 ・フォーサイト手帳への記録が習慣化するまで、記録ははじめの初日から 21 回目まで SHR や授業時間に記録を見届ける。	2		
	保 健 部	・性教育講演会 ・アンケートでの自己評価	・今年度の性教育講演会では、県病院の産婦人科医を講師に迎え、専門的な立場から「思春期の性の健康課題」について講話をいただいた。生徒の感想から、改めて自分も人も大切にすることや、将来の自分自身の生き方や在り方について考える機会となった。	3		
	環境美化部	・チャイムと同時に清掃開始の徹底	・授業が終わるとすぐに駆けつけて清掃活動に取り組む生徒もいる。清掃に対する積極的な生徒が多くいる。	2		
	図 書 部	・進路選択や小論文指導に役立つ図書資料の購入(3 回/年) ・10 分 NEWS(3 年生/毎週金曜日)と新聞コラムの提示(全生徒/毎日) ・読解力向上プロジェクト(ヨミトキ)の教材選択 ・県立図書館「マイライン」の利用 ・「ひなた電子図書館」サービスの導入	・3 年生の政経の時間で 10 分 NEWS を取り上げていただき、有効な活用ができている。また、国語科の教科担任の先生もコメントを記入させ提出を求める指導を継続し、有効活用していただいている。教科以外でも朝 SHR で記事を紹介してくださっているクラスもある。 ○ひなた電子図書館サービスの開始に伴い、ログイン設定等、図書部で協力して実施できた。生徒達は喜んでいる様子であった。 ・マイラインは毎年探究・課題研究・一年生図書オリエンテーションで説明するが、実際利用する(必要に迫られて)生徒は、必ずと言っていいほど大喜びする。実際使ってみないと良さはわからないようである。	3	3	○本への取り組みはとても大切だと感じるので今まで通り、今まで以上力を入れてほしい
	教育相談部	・相談室便り、SOS に関する便りの発行(3 回以上)	・これまで、相談室便りを 3 回発行し、自殺の多い時期等の傾向を把握した上で、適切なタイミングに配布をした。 ・本年度推進校となっている「SOS の出し方に関する教育」への取り組みの一つとして、生徒宛ての通信(ひむか通信)を 2 学期末までに 2 回発行した。3 学期にも発行し、困った時の相談場所の案内や様々なリラックス方法などの情報を提供したい。相談室便りを基に、クラスで話をする事ができた。	3		
⑧ 想 像 力	図 書 部	・生徒選書(店頭購入) ・書庫整理と古書廃棄の推進(除籍 200 冊) ・朝の 10 分間読書の徹底、ビブリオバトル・POP コンテスト(国語科と連携) ・新刊書紹介(10 回/年) ・図書館前掲示板の内容の充実 ・Book Picnic(年2回:R6 年度は 3 回)の運営とボランティア充実	・11/22 に図書委員 5 名と職員で 100 冊ほどの書籍を店頭購入した。多くの生徒、先生方に楽しんでいただきたい。 ・新しい本を定期的に購入し、新刊案内や館内に本を展示することで、生徒に情報を提供できた。 ・図書館前の掲示版の活用はとても良かった。 ・校内ビブリオバトルを探究や LHR で実施し(1,2 年)、ビブリオバトル本戦への出場があって良かった。次年度も参加したいと出場生徒は意欲的だった ・ブックピクニックでは、生徒達が自主的に何をすれば良いかがわかってきて、県民に親しまれるイベントになってきている。毎回来てくれる方もいらっしゃる、とても評判が良い。生徒と市民の交流の場にもなり、本校のよい PR にもなっている。	3	3	
⑨行動力	生徒指導部	・月 1 回(年間 11 回)、専門委員会を実施する。 ・学年別遠足を企画・実施する。 ・フォーサイト手帳の活用を促す。 ・各学年主体で取り組む文化祭の骨子をつくり、全体の掌握と運営を行う。	・専門委員会を充実させることが学校の活性化に繋がるので、新生徒会と連携し課題を持って活動させていきたい。 ・学年別遠足(スマイルプロジェクト)は、学年ごとにテーマを設定し、生徒たちのスマイルをたくさんいただいた。 ・ホームルーム活動や集会などでフォーサイト手帳を活用している生徒を見かけることがない。教員側が意識して、もっと手帳を常日頃から持ち歩くよう指導していく必要がある ・文化祭は学年毎に工夫が見られ、良かったと思う。来年度、計画的な準備・運営・情報共有を大切にしていきたい。	3	3	○フォーサイト手帳。やるからには徹底して使用していただき、一定の効果があるかを調べてほしい。 ○宮崎商業のオープンスクールや中学での学校説明は良い評判をきくことがある。 ○進路指導部による相談会(期末テスト期間)を実施したが、生徒の反応は鈍かった、という理由を知りたい。
	進路指導部	・オープンキャンパス案内 ・学年 PTA での進路行事の充実	・2 学年PTAやオープンスクール時に保護者相談会を実施したが概ね喜ばれた。 ・進路指導部による相談会(期末テスト期間)を実施したが、生徒の反応は鈍かった。	3		
	キャリア情報部	キャリアイベントの参加率 3% アンケート調査等 ICT 活用率 50%	・ICT を活用したアンケート調査が主流になり、通知過多で見逃されるため、回答時間は学校内で設定した方がよい。	3		

	保 健 部	・熱中症予防のために、自分自身で必要な対策を実行し、予防のための行動ができたか。 ・健康診断で「要受診」となった生徒の受診率向上	・体育大会（9月下旬開催）では、熱中症対策講話での指導や体育大会練習開始前の各 HR での指導等を受け、各自飲料を十分に持参しており、給水所の利用もそれほど多くなく、帽子の着用や日陰での休養など予防行動を実行する生徒が多かった。1週間の練習期間含め、熱中症の症状を訴える生徒は少なかった。 ・該当生徒へ、受診の必要性について個別の保健指導を行っているが、特に歯科において治療率が上がらない。来年度は、受診していない理由別にアプローチを変え、保護者へも啓発を行っていきたい。また、部顧問との連携をとって受診の時期について見通しが持てるようにするなどの手立てを行っていきたい。	3		
	環境美化部	・ゴミの持ち帰りの徹底 ・ゴミ分別を徹底	・ゴミの持ち帰りは8・9割程度できているように感じる。 ・教室内にゴミは落ちておらず、ゴミの持ち帰りも徹底されている。 ・夏の自動販売機周辺の放置してあるペットボトル・キャップは定期的に回収する。	3		

4：十分達成・期待以上 3：概ね達成・ほぼ期待通り 2：検討の余地あり・やや期待を下回る 1：不十分・改善を要する



分析及び改善策
【学校評議委員】
○概ね、学校、生徒、PTA 等多くの方の助けがあり、学校運営について多くのやらなければいけないことを時間が足りない中、学校運営をやられていると感じます。尚、一つ一つに対しての評価を出してます事については良いことであります。しかし評価項目が、少し多いのではないかと、思います。
○自己評価「4:十分達成・期待以上」は渉外厚生部（PTA 新聞の発行、PTA 行事の開催、大学や企業視察等の実施）の自己評価となっていますが、学校・保護者間の連携がスムーズにいつている結果と推察いたします。自己評価4がこの1つだけでしたので、もう少し増えるとよいかと思ひます（謙遜して3と付けている可能性も大ですが）。
○自己評価「2:検討の余地あり・やや期待を下回る」は教育相談部、キャリア情報部、環境美化部からのものでしたが、特に教育相談部の先生方のご苦勞が垣間見えました。自分が以前高等学校に勤務していた際も、コーディネーター担当の先生が教員（学年団・担任）、生徒、保護者、SC や SSW 等との連携でご苦勞されていたことを思い出します。ご担当の先生方が疲弊されないように管理職からのフォローがあるとよいかと思ひます（なされているとは思ひますが）。
○直接学校内にいるわけではありませんで、各分掌の自己評価を見させていただいたうえで、私の学校評価は全て3とさせていただきます。
○学校側もやることが多岐にわたって、目的に沿った計画と目的を達成したかどうかの指標を設定できていないと感じる。
○学校の自己評価は先生方の主観での回答であるので、定量的なもので評価できるものを指標としないと目的が達成できたかどうかかわからないと思料します。
○日頃より商業高校の活動を Instagram で拝見をしています。積極的に学校の活動を発信されているので、他の高校よりも身近に感じます。良い事、活動は、どんどん出している方が学校の魅力の向上につながり、先生、生徒、保護者の帰属意識の醸成にもつながると感じました。ただ、学校外での行動についても商業高校の制服・ジャージを着用していれば地域の方からの目があるということは生徒たちにも理解してもらいたい。特に、自転車に乗る時の交通マナー及びヘルメット着用については徹底して指導が必要だと感じます。理由としては、登下校は学校指導の管理下だと思うからです。ぜひ、継続して指導を行っていただきたいと思ひます。